



一般的なダンボール箱はもちろん、カラフルでデザイン性の高いパッケージのオーダーにも柔軟に対応。企画から製造まで、自社で一貫して行っているからこそその強みといえる



「やさしい先輩に助けられながら、  
責任感を持って仕事をしています。」

高品質のダンボール製造を、  
会社の内部から支える存在。

社員によるサポートを受け、効率よく確実に業務をこなしている。そんななかで、入社後まもなくまかされたのが、ダンボール原紙を引き取るトラックの手配や入荷状況をチェックする業務。製造するうえで欠かせない原料にかかわることだけに、特に気を引き締めて業務にあたるという。「総務の仕事は、毎日決まった仕事だけでなく、イレギュラーな仕事が入り込むことも。そのため、業務時間内に効率よくいかに仕事をこなせるように、自分で優先順位をつけて計画的に動くことを心がけています。その日に終わらせる予定の仕事がすべて完了したときはもちろんですが、まわりの人から

「ありがとう」と言われたときにも、仕事へのやりがいや自身の成長を感じています。就職活動を通じて知った「大善」について「採用面接の際に初めて会社を訪問したんです。そのときに、『いらっしゃいませ』と社員の方に気持ちよく迎えられたこと、面接官の方がやさしく話を聞いてくださったことが深く印象に残っていました。私は仕事をやるうえで、業務内容よりも人の雰囲気のよさが重要と考えていたので、この人たちと一緒に働きたい

と強く思うように。加えて、私たちの生活に欠かせないダンボールを作る会社という点にも興味を持ちました」と当時を振り返る。会社に対する印象は入社後も変わっていないそうで、「毎日とてもこま目の状態の私を、上司や先輩方がいつもフォローしてくださって、聞きたいことがあれば、いつでもすぐ質問できる環境もありがたかったですね。これまで先輩方に教えていただいたことを自分の糧にし、総務のひとりとして、まわりの方に頼ってもらえる存在になるのが今の目標です」と、おだやかな笑顔で話してくれた。

岡本さんが思う  
会社のいいところ



岡本理枝さん  
Profile

岡山県出身、2021年入社。大学では古典文学について研究。中学生の頃からアルトサックスを続けており、現在はジャズについて勉強中。休日の楽しみは、楽器の演奏や友人とドライブに出かけること。



風通しのよい社風

部署や世代の垣根を越えて社員同士の仲がよく、お互いに仕事を助け合うことも。また、男女問わず若いうちから重要な仕事をまかされるため、幅広い経験が積める

積極的な設備投資

コルゲートマシン(貼合機)2台での生産体制は、県内の業界で唯一だとか。毎分400ケースを箱にしていって高速マシンも多数有し、スピーディな量産体制を敷く



不況に強い業界

コロナ禍でネット通販の利用が拡大し、ダンボールの需要が高まっている。生活に密着し、物流を支えるダンボールだけに、今後も必要とされる安定した業界といえる



だいぜん  
大善株式会社

岡山市北区撫川1513  
TEL.086-293-5111  
https://daizen.biz/



Pickup! 就活イベント



2月7日(月)・17日(木)・25日(金)の14~15時は、オンラインにて「1時間インターン」を実施(各日とも1週間前までの申込みが必要)。模擬商品の企画を考えたり、若手社員との座談会があったりと充実の1時間に。2月26日出発の「就活準備フェア」にも参加。